

説 教

聖日礼拝 北浜チャーチ  
黒田 禎一郎

2023年11月5日（日）

主 題：「フェイク・ニュースに注意」

—騙されない秘訣—

テキスト：ユダの手紙1章8～16節

## はじめに

・おはようございます。

- 1) 今日は「ユダの手紙」の2回目に入ります。少し復習してみましょう。
  - ・まず著者ユダは、なぜこの書簡を書いたのでしょうか。  
ユダは次のように言いました。
  - 1:3 愛する者たち。私たちがともにあずかっている救いについて、私はあなたがたに手紙を書こうと心から願っていましたが、聖徒たちにひとたび伝えられた信仰のために戦うよう、あなたがたに勧める手紙を書く必要が生じました。
  - ・ユダは、当時のローマ帝国全盛期の時代で、社会から大きな悪い影響を受けた聖徒たちへ警告の手紙を書きました。彼が出した警告は現代もなんら変わりません。聖書は、私たちが生活する現代社会、国家、世界に対しても、貴重な警鐘を鳴らしています。
- 2) ユダは先ず、聖徒の幸いな身分を説きました。そこで、神にお従いする幸いな生活を脅かす悪の力に、断固として立ち向かいなさいと教えました。そして「不信仰を避けなさい」と述べました。
  - ① 信仰のために戦うこと
    - ・神は常に私たちの側にいてくださいますから、戦いは一人ではありません。いいえ、主が共にいてくださる戦いであることを覚えることが大切です。
  - ② 間違った教えである異端に、戦うこと
    - ・昔も今も、異端は変わらない力を持っています。私たちを誘惑し、墮落させようとする誤った教えは、現代もあります。
    - ・主は先人であって、どのように勝利を与えてくださったか、思い出しなさいと述べました。
- 3) 今日のテキストは、「フェイク・ニュースに注意」です。
  - ・今の時代は、SNS が非常な勢いで発展しました。それに合わせるかのように、「フェイク・ニュース」も溢れています。YouTube を通し一体、どれほ

どの「フェイク・ニュース」が流れているのでしょうか。真実は一体、どこにあるのでしょうか。確かな情報でなければ、非常に危険です。

- ・では、今日はユダが出した警告について考えてみましょう。

### 大切なポイント

#### 1. 肉欲の福音に注意せよ

##### 1) 動物のように

1:8 それにもかかわらず、この人たちは同じように夢にふけて、肉体を汚し、権威を認めず、栄光ある者たちをののしっています。

- ・ユダは、ソドムとゴモラの時代のように、人々が淫行にふけり不自然な肉欲に支配されている事実に、非常に心痛めました。彼らは動物的な本能が支持する通りに、行動するようになってしまいました。
- ・それは霊的に盲目で無知となり、栄ある神の福音については理解の限界を超えていました。そんな彼らの姿は、まるで動物のようでした。その結果は次のようです。

1:10 しかし、この人たちは自分が知りもしないことを悪く言い、わきまのない動物のように、本能で知るような事柄によって滅びるのです。

- ・ユダが出した危険とは、人間は理性を失うと正常な判断ができなくなることです。洗脳もその一つでしょう。一度、洗脳された人のマインドが回復するには、相当な時間が必要であり、また決して容易ではありません。
- ・ユダはさらに述べました。

##### 2) 忌まわしいこと

1:11 わざわいだ。彼らはカインの道を行き、利益のためにバラムの迷いに陥り、コラのように背いて滅びます。

- ・ユダは、旧聖書の悪人の代表、カイン、バラム、コラの3人偽教師たちを上げました。

###### ① 弟アベルを殺したカイン

- ・弟アベルを殺害したカインは、世界最初の殺人者です。自分の利益のために、弟を殺しました。そのため、神の怒りにふれて追放されました。同じように、人を欺き誘惑する者は、人の魂を殺害する者です。
- ・カインは主のことばを疑い、信じない懷疑論者、無神論者の代表とみなされています。

###### ② 偽預言者バラム

- ・イスラエルの民が荒野でモアブ人と接したとき、モアブの王バラクはイスラエルを呪うようにと、預言者バラムに要請しました（民数記22—24章）バラムはその時、邪悪な欲望に支配されていました。
- ・その後、イスラエルは偶像を拝むようになり、淫欲に走りましたが、彼らを誘惑した張本人もこの偽預言者バラムでした。（民数記31：16）彼は利益のために罪を犯し、人々を迷わせた人物の典型とされています。

### ③ 反乱者コラ

- ・神はイスラエルの民が出エジプトに際して、モーセとアロンを民の指導者として選ばれました、コラはそのことを認めませんでした。彼はモーセたちに指導されることを嫌い、反乱を企てました。（民数記16章）
- ・それは神が許されない行為でした。その結果、コラとその一族は、大地が裂けて生きたまま、地の底に飲み込まれました。恐ろしい破滅に進みました。彼は神の置かれた権威に従わず、分を越えた不当なものを要求する人間の代表として、今日まで名を残しています。
- \* このように3人の偽教師（人に間違った道を教えた）は、先人の悪い見本として挙げられています。

## 2. 偽教師の特質

- ・では、ここでユダは偽教師の特質をあげています。

1:12 この人たちは、あなたがたの愛餐のしみです。恐れる心もなく一緒に食事をしますが、自分を養っているだけです。彼らは、風に吹き流される雨無し雲、枯れに枯れて根こそぎにされた、実りなき秋の木、

### 1) 異端は教会内に入り込む

- ・「**あなたがたの愛餐のしみ**」: 偽兄弟たちの傲慢さと貪欲は教会の中にまで入り込み、神聖な聖餐を汚すまでに至りました。彼らは神を恐れる心をもたない者でした。そして聖餐のしみを作りました。キリスト者の交わりは、本来人の徳を高める者であるはずですが、彼らは自分の利益だけを求めた利己主義者でした。その結果、聖なる聖餐にしみを残してしまいました。
- ・「**風に吹き流される雨無し雲**」: 恵みをもたらす雨雲のように見せていますが、実は恵みではなく、風に吹き流されるような者です。
- ・「**枯れに枯れて根こそぎにされた、実りなき秋の木**」: 収穫の秋に実のなっていない枯れ木のこと、しかも抜いて捨てられ枯れ果てた木という描写です。
- ・したがって、異端は実を結ぶことはありません。

### 2) 実を結ばない異端

1:13 自分の恥を泡立たせる海の荒波、真っ暗な闇が永遠に用意されている、さまよえる星です。

- ・「**自分の恥を泡立たせる海の荒波**」:彼らは荒波のように絶えず動揺しています。また海中の汚物が海面に浮き出るように、心の中にある汚れた欲望を表に出す、そのような姿です。 (イザヤ57:20引用)
- ・「**さまよえる星**」:自分で光ることができない星か、あるいはわずかな光を残して、すぐに消えてしまう流れ星です。

\*ここで覚えないことは、偽教師の特質です。それは自分の欲を満たすことのみであり、人々の益を図り指針となれるようなものではないことです。私たちは現代も、心の目 (or 霊の目) で、偽教師を見極めることは重要です。

- ・愛する皆様。では、そのような異端が猛威を振るったのが、当時だけではありません。いいえ、現代にも異端は存在しています。神は、この異端をどうされるのでしょうか。

### 3. 主は悪を裁かれるお方

1) 1:14 アダムから七代目のエノクも、彼らについてこう預言しました。「見よ、主は何万もの聖徒を引き連れて来られる。

- ・神は悪を必ず裁かれます。神は多くの聖徒を先導されたお方です。ユダは「**主は何万もの聖徒を引き連れて来られる。**」と記しました。主は偉大な力と尊厳を見ていました (信仰)。

2) 1:15 すべての者にさばきを行い、不敬虔に生きる者たちのすべての不敬虔な行いと、不敬虔な罪人たちが主に逆らって語ったすべての暴言について、皆を罪に定めるためである。」

- ・神は偽教師たちの不信仰と傲慢なことばの、一つ一つに対して、容赦ない裁きを下されると宣言しました。(主の正義)

3) 1:16 彼らは、ぶつぶつ不満を並べる者たちで、自らの欲望のままに生きています。その口は大げさなことを語り、利益のために人にへつらいます。

- ・神を恐れない人々にとっては、この世な不平不満だらけです。自分の分をわきまえず、足ることを知らないからです。利益のみを追求し、ついには失望の内に人生を終えるのです。

- ・しかし、キリストによって生かされている私たちは、パウロのように与えられた人生を感謝のうちに生きることができます。

ピリピ人への手紙 4 章

- 4:11 乏しいからこう言うのではありません。私は、どんな境遇にあっても満足することを学びました。
- 4:12 私は、貧しくあることも知っており、富むことも知っています。満ち足りることに飢えることに、富むことに乏しいことに、ありとあらゆる境遇に対処する秘訣を心得ています。
- 4:13 私を強くしてくださる方によって、私はどんなことでもできるのです。

ま と め

主 題：「フェイク・ニュースに注意」

—騙されない秘訣—

- ・世の中、フェイクニュースが蔓延しています。本物と偽物の識別が、難しい時代です。私たちは、そのような時代にどう生きるべきでしょうか
- ・ 聖書は次のように勧めています。 [ヘブル人への手紙 12 章 1、2 節](#)

12:1 こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、一切の重荷とまとわりつく罪を捨てて、自分の前に置かれている競走を、忍耐をもって走り続けようではありませんか。

12:2 信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。この方は、ご自分の前に置かれた喜びのために、辱めをものともせず十字架を忍び、神の御座の右に着座されたのです。

\*God bless you !